

# 青 垣

第3号 発行日 平成20年4月25日

雲南市立吉田中学校だより

## 生徒会説明会・部活動紹介

10日に新入生を対象に、「生徒会説明会」と「部活動紹介」がありました。入学式の際の“歓迎の言葉”にもあったように、生徒会活動と部活動は生徒にとって中学校生活の大変大きな部分を占めています。



生徒会活動では、生徒の知恵と創造のもと、明るく元気な吉中を、そして一人一人の生徒が輝く吉中を築いて欲しいものです。また、文化祭や体育祭では、保護者や地域の皆さんに“感動”を与える

素晴らしい演出を期待しています。

部活動では、日々の練習を通して、頑張ることの大切さや、仲間との信頼関係を高め、将来よき社会人として活躍できる基礎を培って欲しいと考えています。練習で泣いて、大会やコンクールで笑う。悔し涙やうれし涙を共に流し、数多くの感動を体感して欲しいと思います。

雲南市・飯南町総体での活躍と県吹奏楽コンクールでの健闘を祈っています。



2・3年生は先輩として、それぞれの活動についてパワーポイントを使って分かり易く説明してくれました。また、部活動紹介での一生懸命なパフォーマンスには、生徒たちの部活動に対する強い思いを感じ取ることができ頼もしく思いました。

新入生は自分自身の可能性を引き出すためにも積極的に生徒会や部活動に取り組むことを願っています。



「鍛錬千日之行 勝負一瞬之行成り」

## 近隣バレー大会 “準優勝”

12日に頓原中学校を会場に行われた第25回近隣バレーボール大会で吉中が準優勝をしました。苦しみながらも予選ゾーンを勝ち上がった吉中は、決勝トーナメントに進出し、レシーブ力とチームワークでこの成績を修めました。

Bゾーンの予選リンクでは、上位2校が出場できる決勝トーナメント進出を懸け4校が激しく競り合う試合を繰り広げました。戦績は、木次中が2勝、吉田中と大和中が1勝1敗、赤来中が2敗と接戦でしたが、木次中と吉田中（セット率）が決勝トーナメントに進出しました。決勝トーナメント（準決勝）では、Aゾーン1位の邑智中（2位頓原中、3位三刀屋中、4位掛谷中）と対戦し、フルセットの末に勝ち上がりましたが、惜しくも優勝は逃してしまいました。

今回の結果は生徒たちの、役割分担（拾う人、つなぐ人、打つ人）と、その役目を果たした成果だと分析しています。特に3年生の2人のレシーブが目につきました。やはり中学生のバレーは、レシーブ（守り）とチームワークが基本であることを再認識させられました。反省点としては、サーブミスが上げられます。市町総体で“負けないバレー”を披露するためには、サーブとサーブカットの正確さが一番大切です。森山監督と共に更なる鍛錬に期待をよせています。



Bゾーン予選リンク

吉田中0-2木次中  
吉田中2-0大和中

決勝トーナメント

準決勝

吉田中2-1邑智中

決勝

吉田中1-2木次中

それにしても吉中バレーの良いところが前面に出た近隣バレーボール大会でした。生徒たちの精一杯のプレーは、今後の自信に繋がったことでしょう。

多数の保護者の皆様や地域の皆様の応援が生徒たちの活躍を支えてくれました。ありがとうございました。

## 日立金属杯中学校親善 軟式野球大会が開催

空模様を心配する中、19日に安来運動公園野球場をメイン会場に第19回日立金属杯中学校親善軟式野球大会が開催されました。この大会には、東は鳥取南中、倉吉東中など鳥取県から4校が、西は大田一中をはじめ広域から16チームが参加していました。一回戦は四会場で行われ、吉中は伯太運動公園野球場において地元の安来二中と対戦しました。安来二中と言えば、前成相校長が赴任された学校であり、生徒も否応なしに気合いが入っていました。試合前には成相校長の一塁側応援席への表敬訪問があり、新旧校長の早々の対面が実現しました。

試合は雨天のため、グラウンド整備などで1時間遅れで始まりました。吉中の1回表の攻撃は無得点、その裏に投手の制球難や相手の長打により9点の失点。その後は、互いに無得点のまま試合は進み、5回の裏には、ヒットや相手のエラーなどで吉中が2点を入れましたが、残念ながらコールド負け。4回には安来二中の攻めをホームでタッチアウトにするなど好プレーも見られただけに1回の失点が悔やまれました。

今回の敗戦をしっかりと省察し、次の試合に活かして欲しいと思います。花冷えのする雨の中、応援をいただきました保護者の皆様をはじめ地域の皆様に、厚くお礼を申し上げます。ありがとうございました。



〔1回戦〕

吉田中2-9安来二中

雨が降り、最悪のグラウンドコンディションの中での試合となりましたが、関係者の懸命なグラウンド整備により試合を行うことができました。

## 交通事故に注意!!

春の全国交通安全運動にあたり、8日から15日の間、本校の教職員も学校前の信号機のところで街頭指導を行いました。鳥根県内の交通事故による昨年度の



死亡者数は42名でした。子供の交通事故死傷者数は、近年減少してきていますが、皆さんの大切な命が犠牲とらないよう、みんなで注意をしましょう。

## 響け “吉中サウンド” ～ 聞く人に“感動を与える”演奏を～

吹奏楽部は新入部員を10人迎え、合計35人で活動をしています。部訓は「ONE MUSIC」～届け響け心をついに～です。この部訓にした理由は、一つの音楽を創っていくには、みんなの心をつにして、聞く側の立場に立って演奏し、音楽と一緒に自分たちの思いも伝えたいと思ったからです。

私たちが目指しているものは、コンクールでよい賞を得ることですが、音楽を創っていく人として美しい音色で、聞いてもらう人に感動をもらえるような演奏をすること、その曲にあった演奏をすることなどを目標にしています。このような目標を達成できるように、日々の練習や一つ一つのステージを大切にしていきたいと思います。

今は、5月3日の子安観音祭に向けて頑張って練習をしています。よいステージになるように、がんばるので皆さんぜひ聞きに来て下さい。

吹奏楽部部长 谷口由記



## 家庭科の先生の紹介



家庭科の授業を受け持っていていただきます樋野郁子（ひのいくこ）先生です。斐川町から通勤されます。昨年度は県立出雲商業高校で家庭科の授業を担当しておられました。

今年度は、本校の他に赤来中、頓原中、掛谷中、松江商業高校の家庭科の授業を担当されます。

ベテランの先生で、専門家ですので、分からないことがあれば積極的に質問をしてください。授業の内容だけでなく、お菓子づくりなども相談してみるのもよいと思います。とても奇策で話しやすい先生ですから、皆さんから、まず声をかけてみてください。先生の授業日は毎週火曜日です。楽しみにしててください。

朗報 吉田中学校のホームページが立ち上がります 5月1日より